

Nitto

第154期ご報告

2018年4月1日～2019年3月31日



Nitto
2018.7.21

2018年度業績について

2018年度の経済環境は、米中貿易摩擦などを背景に先行きの不確実性が高まり、下半期以降では中国経済の減速感が顕在化しました。また、米国の通商政策、英国の欧州連合離脱など今後の景気動向に対する懸念も高まりました。

このような経済環境により、Nittoグループも、オプトロニクスとインダストリアルテープにおいて、下半期に入りエレクトロニクスや自動車業界の市況減速による影響を受けました。一方で、核酸医薬の創薬開発における肺線維症治療薬の治験開始など、将来を見据えた取り組みにおいて着実な進展をみせることができました。

2019年度の取り組みについて

2019年度の経済環境は、中国経済の緩やかな減速や通商政策の影響による米国製造業の減速などが懸念されています。

主要な産業においても、需要の一巡や高価格化などによるハイエンドのスマートフォンの販売に伸び悩みがみられ、半導体市場は在庫調整が続いています。自動車も大きな成長が見込まれていません。

このような厳しい環境下、Nittoグループは、社内外のさまざまな技術や情報を融合させることで新たな価値を創出していきます。また、創業からの強みである、新技術・新用途を追求することで新需要を創造する「三新活動」に改めて力を入れ、グローバルニッチトップ戦略、エリアニッチトップ戦略を推進し、お客様の価値創造に貢献してまいります。

加えて、社会課題に対する取り組みを一層加速させ、経済発展と社会課題解決を両立し、世の中にとって必要とされる存在であり続けたいと考えています。

2019年度の業績予想は、売上高7,900億円、営業利益 850億円、税引前利益 850億円、当期利益 620億円 を計画しています。

利益の還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを配当政策の基本にしています。

一方、急速な技術革新への対応やお客様からのニーズにタイムリーに応えるために、研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。

株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。

当期末の利益配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、中間と同額の1株につき90円とし、年間の配当金は前期より20円増額した年間180円とさせていただきます。なお、次期の利益配当金につきましては、年間200円を予定しています。

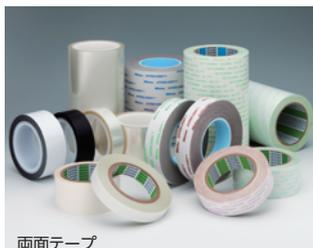


代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄

セグメント解説

インダストリアルテープ



両面テープ

2018年度
売上高
3,339
億円

- 基盤機能材料 (接合材料、保護材料等)
- 自動車材料

2019年度の取り組み

生産性の改革と供給体制の最適化をグローバルに進めることで既存事業の収益性を改善していくと共に、オプトロニクス事業などとの連携による新製品の創出により、電装化が進む自動車など変化する市場や顧客ニーズに対応していきます。

ライフサイエンス



核酸原薬と核酸製剤

2018年度
売上高
299
億円

- 医療関連材料

2019年度の取り組み

活発な開発活動により治験の件数が増加している核酸医薬分野において、新規顧客の開拓を強化し受託製造のシェアを拡大していきます。創業では、線維症および難治性のがん治療薬領域での研究開発と治験を推進し、新たな事業の柱として育てていきます。

オプトロニクス



超薄型偏光フィルム

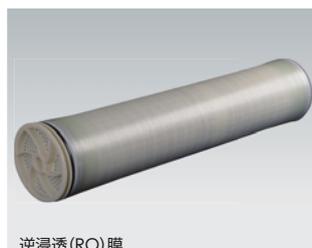
2018年度
売上高
4,513
億円

- 情報機能材料
- プリント回路
- プロセス材料

2019年度の取り組み

業界トップのディスプレイ材料(情報機能材料)の技術力に磨きをかけ、フォルダブルやローラブルといった新たなディスプレイの変化に応じていきます。プリント回路はハードディスクドライブ(HDD)用途におけるシェアの拡大と合理化を徹底することで高い収益性を目指します。併せて、新たな需要の創出によるポートフォリオの変革に取り組んでいきます。

その他



逆浸透(RO)膜

2018年度
売上高
263
億円

- 高分子分離膜
- その他製品

2019年度の取り組み

メンブレンは、生産プロセスの自動化を始めとする合理化と事業基盤の強化を進めます。また、高い成長が期待される市場セグメントでの事業拡大による収益性の向上に取り組んでいきます。新規事業では、プラスチック光ケーブルを始め、開発段階にある案件の一刻も早い事業化を目指します。

2018年度
セグメント別
売上高構成比(※)

39.7% 53.6%



3.6% 3.1%

※売上高構成比は、全社・消去を含まずに算出しています。全社・消去の売上高は、351億円です。

「有機溶剤※フリーの両面接着テープ」第46回環境賞優良賞を受賞

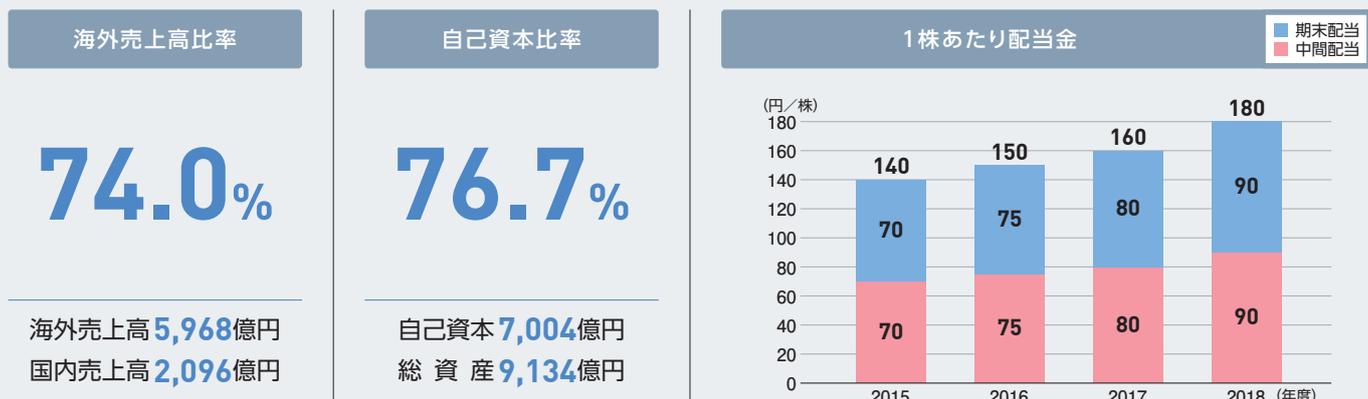
Nittoの「有機溶剤フリーの両面接着テープ」が環境保全や環境の質の向上への貢献が認められ、第46回「環境賞」(国立環境研究所・日刊工業新聞社共催、環境省後援)の優良賞に選出されました。一般的な粘着テープでは、粘着剤に必要な原料を溶かすために有機溶剤が使われますが、僅かに残存した有機溶剤は健康被害を引き起こす懸念があります。Nittoでは、有機溶剤を全く使用しない粘着成分を水に分散させるエマルジョンタイプの両面接着テープをいち早く実用化しました。自動車や家電、住宅建材などさまざまな用途に使われています。

※揮発性有機化合物の一種で、Nittoのエマルジョンタイプの両面接着テープには全く含まれていない。



2018年度 業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。



ポイント

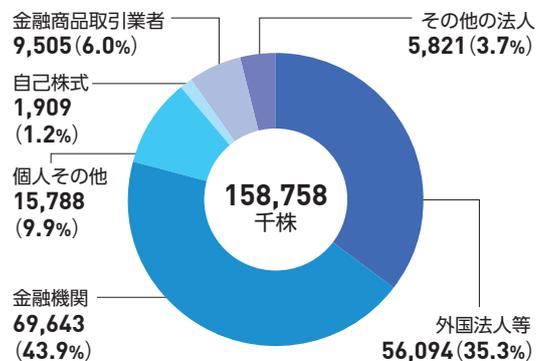
- 1 知的財産に基づくロイヤリティ収入を売上高として計上しております。
- 2 スマートフォンなどで使用されるディスプレイ関連材料は、市況の影響を受けました。

■ 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行済株式の総数 158,758千株
株主数 37,684名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 株主メモ

証券コード 6988 (業種: 化学)
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金の配当受領株主確定日 3月31日 (期末配当)、9月30日 (中間配当)
 定時株主総会 6月
 単元株式数 100株
 上場金融商品取引所 東京証券取引所
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話: 0120-094-777 (通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式Facebookページでも情報を発信しております。
<https://www.facebook.com/nitto.branding/>



■ 表紙写真: 日本の藝と道具の店「日東堂」/ 京都・八坂 (東山区八坂上町385番地の4)

Nitto

日東電工株式会社 〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階

UD
FONT
by MORISAWA